

## 平成27年1月30日

自動車用内燃機関技術研究組合 (AICE) Tel: 03-6257-3699

科学技術振興機構 (JST) Tel:03-5214-8404 (広報課)

## 自動車用内燃機関技術研究組合(AICE)と科学技術振興機構(JST)との SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)に関する連携協定の締結

AICE(理事長 大津 啓司)とJST(理事長 中村 道治)<sup>注)</sup>は、平成27年1月30日、SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)課題「革新的燃焼技術」において、相互に協力しながら産学連携を推進するための連携協定を締結しました。

SIP「革新的燃焼技術」では、大学などの研究機関に所属する研究者が研究を実施していますが、AICEはこれらを支援する立場として、研究の推進、情報発信、研究成果の活用に向けて取り組み、乗用車用内燃機関の最大熱効率50%および持続的な産学連携体制の構築というSIP「革新的燃焼技術」の目標達成に貢献します。

## 注) 独立行政法人 科学技術振興機構 (JST)

科学技術基本計画の実施において中核的な役割を担う機関として、わが国のイノベーション創出の源泉となる知識の創出から研究成果の社会・国民への還元までを総合的に推進するとともに、その基盤となる科学技術情報の提供・基盤整備や次世代人材の育成・支援等、科学技術コミュニケーション活動等を推進しています。

ホームページURL: http://www.jst.go.jp/

## <添付資料>

別紙1:AICEとJSTとの連携協定の概要 別紙2:SIP「革新的燃焼技術」研究実施体制

#### くお問い合わせ先>

## 自動車用内燃機関技術研究組合

土屋 賢次(ツチヤ ケンジ)

〒105-0003 東京都港区西新橋二丁目8番11号 7東洋海事ビル5階

Tel:03-6257-3699 Fax:03-6257-3698

E-mail: inquiry@aice.or. jp

科学技術振興機構 環境エネルギー研究開発推進部

小野寺 勝(オノデラ マサル)、嶋林 ゆう子(シマバヤシ ユウコ)、古賀 明嗣(コガ アキツグ)

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's五番町

Tel:03-3512-3543 Fax:03-3512-3533 E-mail:sip\_combustion@jst.go.jp

## AICEとJSTの連携協定の概要

## 1. 目的

科学技術イノベーションによってわが国に経済成長の原動力および活力の源泉をもたらし、基礎研究から出口まで一貫して取り組むための研究開発プログラムであるSIP (戦略的イノベーション創造プログラム)課題「革新的燃焼技術」のメカニズム解析、モデル化、予測などの要素技術の研究と検証において、産学連携を推進するためにAICEおよびJSTが連携を図ることを目的とします。

## 2. 協定の内容

AICEおよびJSTは、以下の事項について相互に連携をとりながら協力していきます。

- (1) 研究の計画策定および推進に関する事項
- (2) 情報発信に関する事項
- (3) 研究成果の活用に関する事項
- (4) その他

### 3. 事業の内容

SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)課題「革新的燃焼技術」では、最大熱効率50%およびCO230%削減(2011年比)を実現するための革新的技術の研究開発を行うとともに、世界トップレベルの内燃機関研究者の育成と持続可能な産学連携体制の構築に取り組みます。この目標を達成するために、①高い熱効率を生み出す燃焼技術(ガソリンの場合は超希薄燃焼・高過給・大量EGR条件下の燃焼、ディーゼルの場合は急速静音燃焼・クリーン低温燃焼など)、②内燃機関の燃焼を自在に制御する技術、③損失を低減する技術の研究開発を行います。

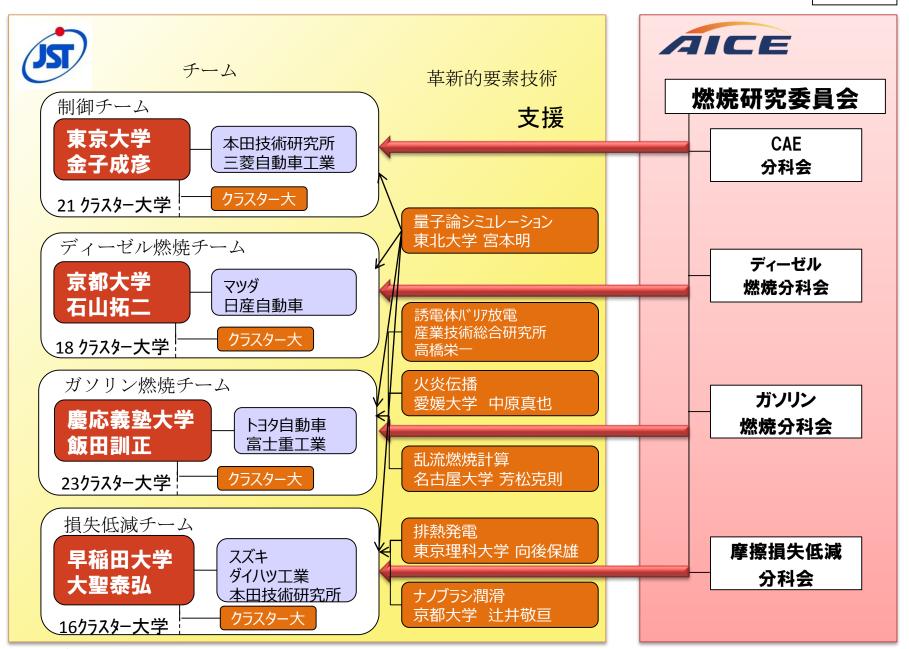
ホームページURL: http://www.jst.go.jp/sip/k01.html

## 4. 今後の取り組み

本協定に基づき、AICEとJSTの連携により、SIP研究成果の創出のために、企業ニーズの提示やマネジメント方法の提供、研究に必要なエンジンや特殊な研究設備の導入における協力、人材の派遣、成果の発信などを通して研究主体を支援するとともに、成果の活用に向けて加速することで、新たな産学連携体制を構築し、SIP終了後もそれが持続的に発展するように取り組んでいきます。

# SIP「革新的燃焼技術」研究実施体制

別紙2



各チームおよび革新的要素技術の研究概要は以下を参照ください: http://www.jst.go.jp/pr/info/info1055/index.html